

I Saw All China (その 10) !!

— 中国経済と近未来の消費力 —

中国の経済は日本を抜き、アメリカに次いで世界第 2 位になりました。しかし、中国の人口は日本の人口の 10 倍であるために、1 人当たり所得は 10 分の 1 でしかありません。

一般的に、経済の発展と消費の成長は次のようなメカニズムになっています。

- ①第 1 段階「第 1 次産業あるいは第 2 次産業の輸出マーケットによる経済成長の時代」
- ②第 2 段階「国内インフラ投資（公共インフラと住宅等の生活インフラ）による経済成長の時代」
- ③第 3 段階「個人所得が向上し、個人消費による経済成長の時代」

以上のように、消費が経済を牽引する第 3 段階の経済の時代に S C は発展し、この消費を「モダン消費」（モノを買い、モノを消費し、モノを利用し、モノを所有することの連続性に喜びと幸せを感じる消費）と言います。

経済規模と個人消費の関係を示すと次の通りです。

- ①第 1 段階（プレモダン消費）
経済規模 > 個人消費
(経済は大きい個人消費は小さい段階でマーケットは外需)
- ②第 2 段階（モダン消費）
経済規模 = 個人消費
(経済規模と個人消費が一致する段階でマーケットは内需)
- ③第 3 段階（モダン消費末期）
経済規模 < 個人消費
(経済規模を上回って個人消費が発生するバブル経済の段階でマーケットは内需)
- ④第 4 段階（ポストモダン消費）
経済規模縮小 = 個人消費縮小
(モダン消費が終焉し、消費の縮小が経済を縮小させる、いわゆるポストモダン消費の段階)

現在の中国の経済を為替レートと購買力平価で示すと次の通りです。

		為替レート		購買力平価	
		GDP	1 人当たり GDP	GDP	1 人当たり GDP
1 位	アメリカ	1,466 兆ドル	47,284 ドル	1,466 兆ドル	47,284 ドル
2 位	中国	588 兆ドル	4,382 ドル	1,009 兆ドル	7,519 ドル
3 位	日本	546 兆ドル	42,820 ドル	431 兆ドル	33,805 ドル

中国に 1 人当たり消費力は、為替レートでは 4,382 ドルで、日本の 42,820 ドルの 10 分の 1 でしかありません。ところが購買力平価(同じ生活をするにどれだけの所得で生活できるかの比較で算定したレート)は、中国は 7,519 ドル、日本 33,805 ドルと 4.5 分の 1 になり、実質的には、中国の消費力は見かけより相当高くなっています。

今、中国は世界の工場としての外需依存から、公共インフラ（道路や上下水道等）や生活インフラ（住宅等の建築事業）への内需へと移っています。しかし、また、第 2 段階の「経済規模 = 個人消費」のレベルまで達していません。

まさに、公共インフラや生活インフラによる不動産バブルを経た後（ミニバブル崩壊の繰り返し状態が続く）に、中所得階級が飛躍的に増大し、消費が経済を牽引する段階となります。それが 2011～2030 年のモデル消費時代になります。中国はこのまま順調に経済発展すれば、13 億人の人口を背景に巨大なモダン消費が発生します。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六 車 秀 之